



ひみつ⑥「カビ」を防止するには？ カビを防止する実験

【実験・観察を始める前に】

- 実験・観察は、保護者・指導者立ち合いのもと、十分に注意をして、自己責任で行ってください。

※お子さんや家族に、カビが原因のアレルギー性の病気を持っている場合には、この実験・観察は止めたほうがよいでしょう。

【実験・観察を始めてから～終わったあと】

- 実験・観察中は、発見したカビを直接触ったり、カビに顔を近づけたり、匂いを嗅いだり、カビを吸い込まないように注意してください。ホコリも吸い込まないように注意しましょう。
- マスクを着用することをお勧めします。
- 実験・観察終了後は、うがい、手洗いをしてください。
- 実験・観察終了後は、そのままビニール袋等に入れ、口をしっかりと縛り、地域のごみ収集方法に従って捨ててください。決して食べないでください。

【実験・観察を成功させやすくする方法】

- パン、または餅を使っても実験は可能ですが、パンを使う場合には、無添加のものを使うとカビが生えやすくなります。
- パンに軽く霧吹きで湿り気を与えておくと、結果がわかりやすくなります。

【この実験・観察で確かめたいこと】

- 食品でカビを防止する事がかのうかどうかを確かめるための実験です。
- 空気中に触れている部分だけではなく、裏面なども確認することで、どのような効果が、どのような面にあるのかを確認することができます。。
- 発見したものが、カビではなく、酵素や酵母、ホコリだったり、それらとカビが混ざり合っている場合もあります。



敵？ 味方なの？ フシギいっぱい！



実験で見つける「カビ」7つのヒミツ



実験（じっけん）・観察（かんさつ）ノート

ひみつ⑥「カビ」を防止（ぼうし）するには？
カビを防止（ぼうし）する実験（じっけん）

実験・観察の記録（きろく）をつけよう

観察した日 年 月 日

用意したもの			
パン	餅（もち）	その他（た）	用意したものに○をつけましょう
いっしょにいれたもの			
わさび	からし	とうがらし	用意したものに○をつけましょう

観察した日	カビのようす

用紙は、必要な分コピーをしてください。

観察した日	カビのようす

用紙は、必要な分コピーをしてください。